

# 公募申請R5-1：3次元データを活用した人流解析

提案団体	62Complex株式会社		
道路の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、2次交通の利活用やモビリティバスの普及、時間帯や状況に応じて道路が変化することで、今までのように固定レーンで安全確保がなされていたことが容易にできなくなると予測</li> <li>・ 人とモビリティの距離が近くなり、新しい種類の交通事故および交通渋滞が発生すると予想</li> </ul>		
解決策 (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変化する道路の実態をAIで解析</li> </ul>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に予測して注意喚起を行ったり、最適な道路の利活用方法を提案</li> </ul>	道路政策ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国土をフル稼働し、国土の恵みを楽しむ</li> <li>②マイカーなしでも便利に移動できる道路</li> <li>④行きたくなる、居たくなる道路</li> </ul>
実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西鉄柳川駅前にて、年間を通じた駅前広場の3次元データを取得し、駅前の利用状況を数値化・可視化することで、人と車の増減や混雑ピーク時を把握</li> <li>・ 北九州市船場広場にて、イベント開催時の人流解析を実施</li> <li>・ 渋谷駅地下にセンサーを設置し、人の滞留場所を3次元で計測することで、災害時における駅周辺の混雑状況を予測</li> </ul>		

## 提案のイメージ

- ・ 道路や街中にセンサーを設置し、3次元データ化
- ・ 人流・交通量を同時計測し、人・車の距離や交通状況を可視化するとともに、必要な時にデータを検索・取得

### 交通量調査の自動化

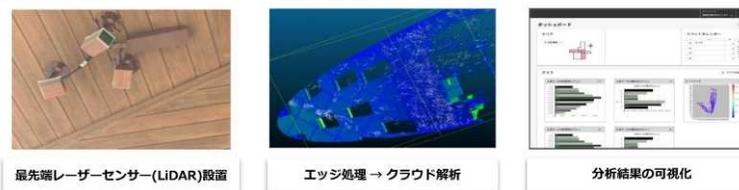
#### ▽国土交通省における交通量調査の自動化・高度化の推進



#### ▽提案システムの特徴

<b>365日の計測</b> 雨天時の測定も可能なため、天候に左右されない交通量調査が可能です	<b>夜間でも調査可能</b> 最先端のセンサー技術により、夜間でも正確な数値を図ることができます	<b>広範囲の計測</b> センサー1台で約150mの範囲を計測でき、計測時の3次元データを見ることが出来ます	<b>作業の効率化</b> センサーは1日で設置でき、1台設置するだけで継続的な測定が可能です
--	--	--	--

#### ▽導入イメージ



#### ▽導入実績

**柳川市**  
対象：柳川駅前

- 駅前の歩行量を調査し、数値化・可視化
- 二次交通や商店街の利用状況を把握

**観光客や市民がくつろげる空間づくりへ**



**福岡市**  
対象：区役所 総合受付

- 区役所内での歩行量を調査し、来庁者の流れを可視化
- 施設レイアウト変更の際の効果を検証

**市民サービス向上へ**

**62Complex**

歩行量・交通量調査のデジタル化へ